

平成12年度

明治から大正・昭和へ

風俗、文芸など多岐にわたる興味を示す清方の大正から昭和にかけてのスケッチと作品を展示した。

会期 平成12年4月21日(金)～平成12年7月23日(日)(開館日数:78日)

総入館者数 6,552人(一日平均:84人)

出品作品

【前期】4月21日(金)～6月4日(日)

「暮れゆく沼」「秋宵」「水汲」「教誨」「築地明石町船・詞」「栗をむく娘」

「築地明石町(下絵)」「新富町(下絵)」「大川端(下絵)」「紫陽花の谷(下絵)」

【後期】6月9日(金)～7月23日(日)

「にごりえ」「秋宵」「早見の藤太」「先代萩 一」「先代萩 二」「寺子屋画帖」

「本朝二十四孝(下絵)」「崔承喜(下絵)」

関連記事

平成12年6月 1日 鎗木清方記念美術館「明治から大正・昭和へ」(広報かまくら)

平成12年6月24日 鎗木清方記念美術館「明治から大正・昭和へ」(湘南リビング 藤沢・鎌倉版)

平成12年6月25日 鎗木清方記念美術館「明治から大正・昭和へ」(博物館研究385号)



リーフレット

人物を描く

清方の人物画に注ぐ熱意と、洞察力と表現力を駆使した作品を、完成に至る下絵もあわせて展示した。

会期 平成12年7月28日(金)～平成12年9月10日(日)(開館日数:39日)

総入館者数 2,461人(一日平均:63人)

出品作品

「嫁ぐ人」「深沙大王」「慶喜恭順」「大蘇芳年」「曲亭馬琴」「ほゝづき」

「ゆかた」「年増美人」「女役者衆八」

「小説家と挿絵画家(下絵)」「崔承喜(下絵)」

関連記事

平成12年8月11日 人物描いた20点展示(読売新聞)



リーフレット

特別展「四季の女性」

清方作品に描かれた四季それぞれの女性の姿を展示した。

会期 平成12年9月22日(金)～平成12年11月26日(日)(開館日数:53日)

総入館者数 7,241人(一日平均:136人)

図録 『特別展 四季の女性』

関連事業

【講演会】「鏑木清方ー近代美人画の第一人者」

【講師】小林忠(学習院大学教授)

【日時】平成12年11月6日(月)14:30～16:00

出品作品

【前期】9月22日(金)～10月26日(日)

「遊女」	大正7年	絹本着色	屏風・二曲一隻	169.0×176.0	横浜美術館
「春の那々久佐」	大正7年頃	絹本着色	額	139.0×48.0	横浜美術館

「ためさるゝ日(右幅)」「早春」「朝涼」「襟おしろい」「浅みどり」「笠の曲(娘道成寺)」「水汲」

口絵:「百合子(菊池幽芳著『百合子』後編)」「藤乃の巻(菊池幽芳著『月魄』)」

「花吹雪(『文藝倶楽部』)」「こすもす(『文藝倶楽部』)」「元日の朝(『婦人世界』)」

「上野の花(渡邊霞亭著『渦巻』)」

「勝鬨(渡邊霞亭著『勝鬨』)」「天うつ浪(幸田露伴著『天うつ浪』第4巻)」

「恋学生(小栗風葉著『恋学生』)」

「瀧野川観楓(下絵)」

【後期】10月28日(土)～11月26日(日)

「おぼろ夜」	大正14年	絹本着色	軸	125.5×41.3	弥生美術館
「瀧野川観楓」	昭和5年	絹本着色	軸	53.0×71.0	個人
「明鏡」	昭和6年	絹本着色	軸	125.5×36.0	茨城県近代美術館
「夏の女客」	昭和8年	絹本着色	軸	129.0×42.0	茨城県近代美術館
「濡髪」	昭和10年	絹本着色	軸	120.5×35.5	弥生美術館

「女役者衆八」「舞妓」「柳の下に涼む娘」「山百合」「虫の音」「太夫」

口絵:「いで湯の夕べ(『文藝倶楽部』)」「あさ露(『文藝倶楽部』)」「初夏の雨」「ほゞづき」

「落花帖(小杉天外著『落花帖』中編)」「勝鬨(渡邊霞亭著『勝鬨』)」

「新鬢下地(小栗風葉著『新鬢下地』)」「小ゆき(菊池幽芳著『小ゆき』)」「鸚鵡(『文藝倶楽部』)」

「幕間(『清方美人畫譜』)」「見立十二姿 虎の門(『新小説』)」

「初雁の御歌(小下絵)」

関連記事

平成12年 8月25日	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(博物館研究387号)
平成12年 9月25日	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(博物館研究388号)
平成12年10月19日	「四季の女性」展開催	美術ファンでにぎわう鏑木清方記念美術館(読売新聞)
平成12年10月25日	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(博物館研究389号)
平成12年11月 1日	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(広報かまくら)
平成12年11月	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(いきいき11月号)
平成12年12月	鏑木清方記念美術館	特別展「四季の女性」(SIGNATURE)



清方のまなざし 身近な風俗

雪の朝、少女が糸の先に切炭を吊り下げ、雪を釣る様子を描いた『雪旦』など、清方が身近に接していた風俗を描いた作品を中心に展示した。

会期 平成12年12月1日(金)～平成12年12月20日(水)(開館日数:17日)

総入館者数 1,091人(一日平均:64人)

出品作品

「寒月」「朝夕安居」「ゆあみ」「春や昔」「雪空」「雑司ヶ谷会式」

「子供二人」「二人静」

「鯛(下絵)」「雪旦(下絵)」

関連記事

平成12年10月1日 「清方のまなざしー身近な風俗ー」(江ノ電沿線ガイド VOL.34)



リーフレット

特別展 明治風俗十二ヶ月 清方の意匠の羽子板とともに

「明治風俗十二ヶ月」と、それをもとに制作された押絵羽子板をともに展示した。

会期 平成13年1月5日～平成13年2月12日(開館日数:34日)

総入館者数 4,132人(一日平均:121人)

出品作品

「明治風俗十二ヶ月」 昭和10年 絹本彩色 軸(12幅) 各113.0×30.2 個人

「白梅」「風景」

「明治風俗十二ヶ月(押絵羽子板 永井周山作)」

「ためさるゝ日(押絵羽子板)」「春の夜のうらみ(押絵羽子板)」「羽子板(伊東深水作)」

「松ノ内(『苦楽』表紙 下絵)」「讚春(小下絵)」



関連記事:

平成13年1月25日 鎌倉市鎌木清方記念美術館 特別展「明治風俗十二ヶ月」(博物館研究392号)

平成13年2月 1日 鎌木清方記念美術館 特別展「明治風俗十二ヶ月」(広報かまくら)